

特集

大動脈弁狭窄症について

大動脈弁狭窄症とは、心臓の出口にある大動脈弁がきちんと開かず、出口が狭くなってしまうことにより、心臓から全身に血液が送られにくくなる病気です。症状としては「息切れ・身体がだるく疲れやすくなる・失神・胸痛・呼吸困難」などがあり、進行すると突然死をきたす場合があります。症状がない期間が長く続き、症状が強くなるまでの予後は一般的に不良です。

少し前までは大動脈弁の治療は開胸術しかありませんでしたが、現在は経カテーテル大動脈弁移植術（TAVI）が行われるようになってきました。胸をメスで開かず、心臓も止めずに足の付け根からカテーテルで弁の狭窄を改善させることができ、高齢者にも可能な体に優しい治療法として注目を浴びています。麻酔をかけて行いますので痛みもほとんどありません。開胸をしないので体への負担も少なく、入院期間が短いのも特徴です。また最近では透析患者に対しても、条件があれば治療が可能となっています。

前述のような症状がある場合や、聴診器で収縮期雑音を聴取する場合は、治療の適応となる可能性がありますので、ご紹介いただければ幸いです。何卒よろしくお願い致します。



（エドワーズライフサイエンス ホームページより抜粋）

【 担当 ： 内科 丸山 正隆 】

医師異動のお知らせ

新 任（令和5年4月1日付け）

- | | | |
|-------|--------|----|
| ・整形外科 | 阿部 雅志 | 医師 |
| ・整形外科 | 中村 光志 | 医師 |
| ・整形外科 | 森下 平太 | 医師 |
| ・精神科 | 能登路 拓也 | 医師 |

退 任（令和5年2月26日付け）

- | | | |
|-----|--------|----|
| ・内科 | 名嘉原 忠博 | 医師 |
|-----|--------|----|

退 任（令和5年3月31日付け）

- | | | |
|-------|-------|----|
| ・整形外科 | 山下 大輔 | 医師 |
| ・整形外科 | 鈴木 義司 | 医師 |
| ・精神科 | 松本 拳 | 医師 |

超音波診断装置 “ポケットエコー”が導入されました

皆さまはエコーと聞くと何を想像しますか？「お腹の中の赤ちゃんをみるために使うもの」を想像する人も多いかと思います。そのエコーがなぜリハビリと関係あるの？そう思われる方も多いと思います。今回はエコーの特徴やリハビリテーション科でどのようにエコーを活用していくのかについてお話ししていきたいと思います。

○ エコー(超音波)とは

超音波とは一般的に 20kHz 以上の「人の耳には聞くことのできない高い音」のことをいいます。超音波検査では、身体に照射した超音波が反射し、反射した超音波を解析・画像化することで、身体の組織を評価します。長所としては痛みがなく、放射線被爆もないことから手軽に繰り返し検査することができること、リアルタイムに観察ができることがあげられます。また軽量で小型化されたポケットエコーは持ち運びが容易になりました。短所としては骨の表面で反射してしまうため、骨の下にある組織は描出できないことや、操作に習熟が必要なが挙げられます。

リハビリテーション科では、令和4年度から以下のことを目的に、ポケットエコーを導入しました。

① 関節や筋肉の動きを可視化

従来は、筋肉を伸ばしたり、関節を動かしたりした時の固さを手の中で感じることで “おそらくこの筋肉や関節が固いだろう” という仮説を立てて治療をしていましたが、エコーを使用することで動きの悪い関節や筋肉を実際に目で確認しながら治療を行うことができます。

② 深層筋など触診が難しい部位の徒手療法の精度向上

深層にある筋肉いわゆるインナーマッスルのような触診が難しい部位であっても、エコーを使用することで実際に触れている部位を確認しながらマッサージや筋力トレーニングの指導を行うことができますようになります。

③ 患者さまへのフィードバック

リハビリテーション前後で関節や筋肉の動きにどのような違いが出たのかを視覚的にとらえることができ、患者さまのモチベーションアップに繋がります。また関節や筋肉の動きを確認しながらトレーニングの指導を行うことで、どのように力を入れたら良いのかがわかりやすくなりホームエクササイズに向けた指導に役立てることができるようになります。

患者さまのリハビリテーションにエコーを活用することで、より良いリハビリテーションを提供できるように研鑽^{けんさん}を続けていきます。

【 担当 ： リハビリテーション科 理学療法士 川合 弘基 】



診療実績

○受託検査実績

項 目	1月	2月
C T	33 件	29 件
M R I	37 件	55 件
超音波検査	14 件	9 件
その他検査	6 件	10 件

○診療実績

項 目		1月	2月
紹介患者数		308 人	334 人
逆紹介患者数		219 人	280 人
1日当り 患者数	入 院	154.5 人	175.4 人
	外 来	452.5 人	421.5 人
病床利用率		59.4 %	67.4 %
救急搬送件数		140 件	101 件

【 発 行 】

菊川市立総合病院 地域医療支援課 〒439-0022 静岡県菊川市東横地 1632

TEL : 0537-35-2344

Eメール : renkei@kikugawa-hosp.jp

FAX : 0537-35-2843

ホームページ : <http://www.kikugawa-hosp.jp>



©菊川市